

年末手当3.2ヶ月を要求!

10月11日、本部は年末手当に関する申し入れを行いました。

会社の業績は、3月11日に起きた東日本大震災や福島第1原発事故の影響で、4、5月と一時の落ち込みはあったものの、6月からは回復改善され、ここ3ヶ月は昨年を上回り、トータルとしてもほぼ前年並みの収入を確保しています。これは社員の日夜にわたる安全・安定輸送に対する努力はもちろんのこと、休日出勤や災害時などにおいて会社施策に協力した結果です。

会社は、東日本大震災の影響や景気の低迷などを理由に年末手当を抑えようとするでしょう。しかし、役員の高額報酬や展望さえ見いだせないリニア新幹線への莫大な投資からすれば、まだまだJR東海には余裕があります。社員にだけ冷や飯を食わせるような会社に未来はありません。

皆さん!業績を回復させたのは、職場で苦勞をしている私たち社員です。冷や飯はもうこりごり!JR東海労は、要求満額獲得に向け奮闘します。共に闘いましょう!

申し入れ

1. 年末手当は基準内賃金と補償措置額の3.2ヶ月分とすること。
2. 組合員が納得しない年末手当のカットは止めること。
3. 回答は11月11日までとすること。
4. 支払いは12月2日までとすること。

冷や飯はもうこりごりだー!